



高知で働く先輩

No.00

高陽開発株式会社
【こうようかいはつ】

しもむら りくと

下村 陸人さん(出身地/北川村)

災害復旧から維持管理まで。高知のインフラ整備に携わって67年

何事も学びと経験。仕事に誇りをもって向き合う、若手のホープ!

事務職から現場へ

治山工事や道路工事、河川工事など県内の公共事業に携わる「高陽開発」。若手の育成にも力を入れており、次世代への技術の継承にも積極적이다。「手に職を」と専門学校で会計を学んだ入社2年目の下村さん。当初は事務職としての採用だったが、今年4月に現場職の若手育成のため「現場監督への登竜門」である世話人としての仕事をしてみないかと声がかかったのだそう。驚きや不安はあったが「とりあえずやってみよう」とすぐに決断。目の前の仕事を一生懸命にこなすなかでやりがいを感じられるようになり、今では「現場に出る方が楽しい!」と笑顔で語る。

見えないところから道路の維持に貢献

現在台風など災害の影響で折れた木を撤去したり、落ち葉や雑草の除去、側溝の清掃など道路維持

を担当している下村さん。土木事務所からの依頼を受けて作業員や道具の手配、報告用の写真撮影、また書類の作成などの業務を日々こなす。「今の現場は2、3日で終わるところばかり。すぐにきれいになったと目に見えて分かるのが楽しいです」と話す下村さん。日頃から丁寧な仕事を心がけているそうで、近隣の方から「道路をとても綺麗にしてもらえて嬉しい!」と連絡があったことも。感謝の気持ちが自分にまで届くことにやりがいを感じると話す。悪天候の際には夜間に緊急で現場で行かなければならないこともあるが、その分有給休暇など取りやすいのだそう。また同社は資格サポートも手厚く、下村さんも現場経験を積みながら「二級土木施工管理技士」を目指し勉強を始めている。今後は「主任技術者として現場を動かせるように、そして大きな土木構造物や形に残るものの現場監督をしてみたい!」と熱い思いを語ってくれた。

高知で働きたい方へ
メッセージ

「自分のために」 働くことが大事

現場での仕事は全くの未経験からのスタートでしたが、続けていると面白さがありました。言われたからやる、ではなく自分が納得できる仕事をしていくことが大切だと思います。



message

information



高知県高知市布師田1896番地6 TEL/088-846-1116
 ○代表取締役/玉木 大祐 ○創業/昭和30年
 ○売上高/8億3100円 ○従業員数/50名
 HP/koyokaihatsu.co.jp

こちらをチェック

